指定文化財一覧

● 重要文化財

名　　称	所　在　地	指定年月日	鑑　賞　の　ポ　イ　ン　ト	指定
北海道白滝遺跡群出土品	遠軽町白滝138番地1	H23. 6. 27	いずれの石器群にも多数の接合資料があり、剥片剥離技術や、原石の搬入、素材や製品の搬出のあり方を具体的に物語り、世界的にも希有な内容の後期旧石器時代資料である。	国
旧網走監獄	網走市呼人1番地	H28. 2. 9	舎房及び中央見張所は、明治期の木造の放射状舎房が完全な形で残る唯一のもので、当時の標準的な獄舎の特徴を備えている。	国
旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	網走市呼人3番地	H28. 2. 9	全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、当初に遡る主要建築物をよく残し、特に舎房は明治中期に遡る獄舎建築として歴史的価値が高い。また構外泊込作業場から段階的処遇制度の先駆的施設への発展過程をよく示しており、行刑史上高い価値が認められる。	国

● 史跡

名　　称	所　在　地	指定年月日	鑑　賞　の　ポ　イ　ン　ト	指定
桂ヶ岡砦跡	網走市桂町	S10. 12. 24	台地には大小2つの隆起した地帯があり、先住民はそれぞれに立ち談判したという。	国
最寄貝塚	網走市北1条東2丁目	S11. 12. 16	純海岸性の貝塚で、モヨロ貝塚人として著名である。オホーツク式文化の宝庫。	国
常呂遺跡	北見市常呂町栄浦～岐阜	S49. 3. 12 S62. 8. 21 H2. 4. 27 H14. 9. 20	我が国では他に例をみない竪穴群であり、縄文文化晩期、続縄文文化期、擦文文化期及び擦文文化後期の墓坑の可能性が強く日本の先史文化を解明する貴重なものである。	国
白滝遺跡群	遠軽町白滝	H1. 1. 9 H9. 9. 2	旧石器時代の集落跡であるこの遺跡は黒曜石原産地に立地し、大量に出土する石器及び剥片等は、当時の生活と石器製作の実態を解明する上で重要。	国
チャシコツ岬上遺跡	斜里町ウトロ西	H31. 2. 26	知床半島南西端から海に突き出た標高55mの岬状を呈する海岸段丘上に、8～9世紀にわたって31棟の竪穴建物や墓、廃棄場等の遺構が密集して営まれた、オホーツク文化終末期を中心とする拠点的集落遺跡。	国
斜里朱円周堤墓群	斜里町朱円西76番地	S32. 1. 29	竪穴を掘り、その土で周りに堤が築かれている、ストーンサークルの変形で、縄文時代後期の墳墓群。	道
オムサロ台地竪穴群	紋別市渚滑町川向153番地、興部町字富丘396	S39. 10. 3	３地区に分かれ、総計208個の竪穴住居跡があるが、ほとんど完全に残っている。	道
シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町字川西	S42. 3. 17	オホーツク海に面し、海岸段丘床に665個の竪穴群がある。	道
朱円竪穴住居跡群	斜里町朱円地先国有林	S42. 6. 22	オホーツク海に面した丘陵の2㎞にわたり約750か所を数え竪穴は外観上円形が主体で、円形は2個接続するもので本道では他に例がなく同形態の千島との関連など先史文化上貴重なものである。	道
興部豊野竪穴住居群	興部町字豊野	S43. 12. 18	遺跡は、Ａ・Ｂの二地区に別れ、オホーツク海に面し竪穴は一辺の長さ5～10mのもの40ヶ所が完全な姿をなしている。形成年代は擦文文化期のものが多数で、縄文文化期も混在している。	道

● 名勝

名　　称	所　在　地	指定年月日	鑑　賞　の　ポ　イ　ン　ト	指定
天都山	網走市字天都山242番地	S13. 12. 14	知床半島、網走湖、能取湖、濤沸湖、雄阿寒、雌阿寒岳などの壮大な眺望が得られる。	国
ピリカノカ 瞰望岩 ※注）	遠軽町	H23. 2. 7 ※追加指定分	市街地中心部にそびえる高さ78mの安山岩質火山角礫岩よりなる巨大な奇岩である。頂上には駐車場から約2分で登れ、遠軽の街並みをパノラマに見渡せる素晴らしい風景を堪能できる。	国
小清水海岸	小清水町字浜小清水	S26. 9. 6	海岸、砂丘、草原、潟湖、山岳の展望に富み、牧歌的な風景に優れている。	道

※注）正式名称は「ピリカノカ　九度山（クトゥンヌプリ）、黄金山（ピンネタイオルシペ）、神威岬（カムイエトゥ）、襟裳岬（オンネエンルム）、瞰望岩（インカルシ）、カムイチャシ、絵鞆半島外海岸、十勝幌尻岳（ポロシリ）、オキクルミのチャシ及びムイノカ」と称し、北海道全域に広がる名勝として登録されているが、当管内に所在する名勝として紹介するにあたり、「ピリカノカ　瞰望岩」と略称して記載する。

● 天然記念物

名　　称	所　在　地	指定年月日	鑑　賞　の　ポ　イ　ン　ト	指定
女満別湿性植物群落	大空町女満別	S47. 6. 14	ヤチダモおよびヤチハンノキを主とする落葉広葉樹の自然林。林床には、ミズバショウの広大な群落がある。	国
斜里海岸の草原群落	斜里町美咲地先国有林	S25. 8. 28	斜里町市街から約2㎞北西の海岸で、６月から10月にかけてエゾスカシユリ、エゾカンゾウなど50種を超える草花が咲き競う。	道
佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町字東テイネ浜	S32. 1. 29	アッケシソウは別名サンゴソウともいい、秋になるとさんご色になる。	道
温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市留辺蘂町字花丘	S32. 1. 29	温泉街から無加川に沿って東へ約500mの丘陵斜面に30万本もの純群落があり、毎年５月上旬に開花し、10日前後に最盛期を迎える。	道
白滝の流紋岩球顆	遠軽町上白滝	S39. 10. 3	曹長石を主とした流紋岩が球顆状をなして続いている。	道
オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町オシンコシン	S48. 3. 14	新第３紀中新世上部の頁岩層が分布し、粗粒玄武岩の岩床や柱状節理と、更にその岩柱に直角に縞状風連模様を呈し、岩柱の複雑な動きを示す地質学の貴重な資料である。	道

● 有形文化財

名　　称	所　在　地	指定年月日	鑑　賞　の　ポ　イ　ン　ト	指定
女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町女満別西３条３丁目１	S43. 1. 18	女満別町豊里遺跡から出土し、主に旧石器時代のものと同様の石刃が主体をなしている。（石刃等 760 個）	道
幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町西町１丁目	H3. 3. 30	北海道の旧石器時代を解明する上で学術的に貴重な考古資料。（札滑型糸田石刃核等 1,902 点）	道
斜里朱円周堤墓群出土遺物	斜里町本町 49 番地	H25. 3. 29	縄文時代後期末に位置づけられる栗沢式土器やヒスイ製の玉やサメ歯製品の装身具などがある。	道
北海道家庭学校礼拝堂	遠軽町留岡 34 番地	H27. 3. 31	道内に現存する教会堂と比較しても大正期の形態をとどめる希少な建造物で、細部の意匠に工夫を凝らしている。	道

● 登録有形文化財

名　　称	所　在　地	指定年月日	鑑　賞　の　ポ　イ　ン　ト	登録
旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町字越川 245 番８他	H10. 7. 23	長さ 147ｍ、高さ 20ｍの 10 連アーチ型のコンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。	国
順誓寺本堂	津別町字新町 16 番地	H19. 3. 31	昭和 10 年 10 月 17 日に竣工したという記録を有し、津別町市街地の中心部に位置している。	国
旧上藻別駅逓所	紋別市上藻別 297 番地１	H20. 10. 23	大正 15 年に官設の上藻別駅逓所として建てられた。木造下見板張の平屋建、柾葺で、入母屋造の本屋に寄せ棟の玄関を有する。	国
博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市呼人１番地１	H24. 8. 13	煉瓦造平屋建、切妻造桟瓦葺、桁行 3.7ｍ、梁間 2.8ｍ、壁は厚さ 0.4ｍのイギリス積で、正背面に出入口を設ける。正面側に前室を配して室境に鉄格子を嵌め、奥に板張りの独居房を設置。現存例が希な明治期の行刑施設。	国
博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市呼人１番地１	H24. 8. 13	もとは刑務所手前の網走川に架けられた鏡橋南岸に設置され、外部からの来訪者や受刑者を監視した看守所。木造、鉄板葺、建築面積３㎡で、平面は六角形を呈する。西側の一面に片開き戸を設け、他の五面を引き違い窓とし、全方向への監視を可能にしている。	国
博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市呼人２番地２	H24. 8. 13	もとは入口哨舎と対向して鏡橋北岸に配置され、外部からの来訪者や受刑者を監視した。六角形平面で建築面積３㎡。各面にガラス窓を配し、全方向への監視を可能とする。	国
博物館網走監獄西門哨舎	網走市呼人２番地２	H24. 8. 13	もと網走監獄西門で、業者の出入り等を点検した。六角形平面の木造、鉄板葺、建築面積３㎡で、一面に片開き戸を設け、他五面に引き違い窓を配し、腰は下見板を張る。	国
博物館網走監獄裏門	網走市呼人１番地１	H24. 8. 13	もとは煉瓦壁で囲まれた獄舎と作業場との間に設けられていた門。間口 3.2ｍの櫛形アーチの出入口を開き、左右に高さ 4.6ｍのイギリス積煉瓦壁をのばし、延長 12.7ｍを測る。	国
博物館網走監獄裏門哨舎	網走市呼人１番地１	H24. 8. 13	もと網走監獄の裏門で、外部からの来訪者や受刑者を監視した。建築面積２㎡、六角形の平面を呈する。各面をガラス窓や出入り口とし、全方向への監視を可能とする。	国
網走市立郷土博物館本館	網走市桂町１丁目１	R1. 12. 5	フランク・ロイド・ライトの弟子で、建築家田上義也(たのうえよしや)の設計。昭和 11 年建築の道内最初期の郷土博物館。木造２階建て、左右対称平面の中央を南北に張り出し、正面に円弧状のアーチをみせる、独創的な意匠の文化施設。	国
網走市立郷土博物館新館	網走市桂町１丁目１	R1. 12. 5	昭和 36 年に田上義也の設計で本館の東側に増築。木造２階建て、矩形(くけい)平面で屋根は片流れ。立面は本館との連続性を考慮しつつ、壁面の切り込みなどの彫塑的表現に、田上の戦後の作風を見せる。	国